

YOKOSHIN NEWS

平成26年 4月 3日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

－平成26年1～3月期実績、4～6月期予想－

横浜信用金庫(理事長 斎藤 寿臣)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】 業況DIはプラスを維持、来期はマイナスに転じる見込み

- 今期(平成26年1～3月期)の業況判断DIは、前期比0.3ポイント上昇の4.5と回復し、前期に続きプラスを維持した。来期は、今期より8.2ポイント低下の-3.7と、マイナスに転じる見込みである。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比0.4ポイント上昇の7.2となった。特に一般機械器具と食料品が大きく回復した。製造業の来期業況判断DIは-4.0と、今期より11.2ポイント低下し、マイナスに転じる見込みである。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比0.2ポイント上昇の3.2となった。特に建設業が大きく回復した。非製造業の来期業況判断DIは-3.6と、今期より6.8ポイント低下し、マイナスに転じる見込みである。

【特別調査】 消費税率引上げの影響と賃金・価格改定の動向

- 消費税率引上げに伴う販売価格への反映は「一部にとどまる」が大方の見方
- 消費税率引上げによる売上げへの影響は「減少する」が35.1%で最多
- 消費税率引上げ後の対策は「いっそうの経費削減」など
- 今春の賃金改定の状況：引き上げていない 93.4%、引き上げた 6.6%
- 販売価格改定の状況：引き上げていない85.0%、引き上げた15.0%

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数：754先
調査方法：各営業店職員による聞き取り調査 調査時期：平成26年3月上旬

その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。